

住民の皆様へ大切なお知らせ



令和4年2月7日、嘉麻市下臼井で発生した建物火災で5人の尊い命が奪われました。

住民の皆様におかれましては、大切な命を守るため、下記の「住宅防火いのちを守る10のポイント」を確認し住宅の火災予防にお役立てください。

※参考として「住宅用火災警報器奏功事例」を添付していますのでご覧ください。

『住宅防火 いのちを守る 10のポイント』

－ 4つの習慣・6つの対策－

4つの習慣

- 1 寝たばこは絶対しない、させない。
- 2 ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- 3 こんろを使うときは火のそばを離れない。
- 4 コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

6つの対策

- 1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- 2 火災の早期発見のために、**住宅用火災警報器**を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- 3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- 4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- 5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に把握し、備えておく。
- 6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

住宅防火 いのちを守る10のポイント

4つの習慣

- 

1 寝たばこは絶対にしない、させない
- 

2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない
- 

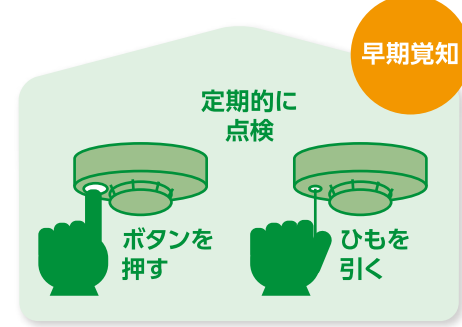
3 こんろを使うときは火のそばを離れない
- 

4 コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

6つの対策

- 

1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する

過熱防止センサー 出火防止
- 


2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する

定期的な点検

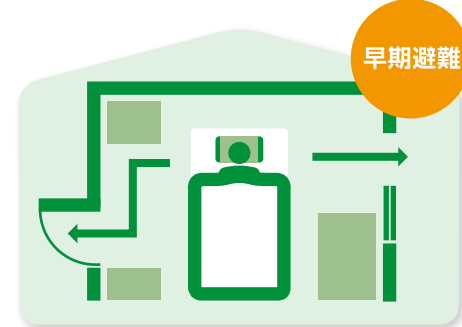
ボタンを押す ひもを引く
- 

3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する


延焼拡大防止

防災カーテン 防災アームカバー エプロン
- 

4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく

初期消火
- 

5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく

早期避難
- 

6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

地域の助け合い

住宅用火災警報器奏功事例

建物種別	原因概要	状 況
一般住宅	鍋の空焚き	居住者がガスこんろに鍋をかけたまま別の部屋にいたところ、空焚き状態の鍋から発生した煙により住宅用火災警報器が鳴動した。隣の住民が住宅用火災警報器の警報音に気付き、119番通報した。
長屋住宅	鍋の空焚き	居住者がガスこんろに鍋をかけたまま出かけてしまい、空焚き状態の鍋から発生した煙により住宅用火災警報器が鳴動した。隣の住民が換気扇からの煙の噴出及び住宅用火災警報器の警報音に気付き、119番通報した。
一般住宅	鍋の空焚き	住人が鍋をガスこんろの火にかけたまま寝てしまい住宅用火災警報器の鳴動音で空焚きに気付いたもの。住人が煙を確認後、緊急通報ボタンにて福岡安全センター(株)に通報、福岡安全センター(株)から119番通報される。
長屋住宅	子どもの火遊び	子どもの火遊びによる煙に住宅用火災警報器が鳴動し、隣の住民が住宅用火災警報器の警報音に気付いたため、知人宅にかけこみ119番通報した。
共同住宅	鍋の空焚き	居住者がガスこんろに鍋をかけたままガスを消し忘れ、鍋が空焚き状態となり室内が煙で充満したため、住宅用火災警報器が鳴動した。隣の住民が換気扇からの煙の噴出及び住宅用火災警報器の警報音に気付き、避難誘導をした後に119番通報した。
共同住宅	鍋の空焚き	居住者がガスこんろに鍋をかけ、そのまま就寝したため、鍋の空焚き状態となった。隣戸の住民が住宅用火災警報器の警報音に気付き、窓から内部を確認すると白煙と炎が見えたため119番通報した。
店舗兼住宅	放 火	出火建物の住民が2階寝室にいたところ、1階店舗の住宅用火災警報器の警報音に気付いた。1階へ下りると炎を確認したため119番通報した。
一般住宅	鍋の空焚き	居住者がガスこんろに鍋をかけ、そのまま外出したため、鍋の空焚き状態となった。近隣の住民がその異臭に気付き、家の外に出たところ住宅用火災警報器の警報音と煙を確認したため119番通報した。
共同住宅	不 明	出火建物近隣の住民が、住宅用火災警報器の警報音に気付き建物1階の窓から内部を確認すると、白煙が噴出していたため119番通報した。

共同住宅	布団が電気ストーブに接触	自宅で就寝中、住宅用火災警報器の音に気付いた居住者が息子の部屋を見に行くと、布団と畳が燃えており、天井付近まで煙が広がっていた。
共同住宅	鍋の空焚き	ガスコンロで味噌汁を作っている最中に眠ってしまい、鍋の中の食材が焦げ煙が発生し、寝室の住宅用火災警報器が鳴動した。上階の住民が警報音と焦げ臭い匂いに気づき、119番通報した。
長屋住宅	やかんの空焚き	やかんをガスコンロの火にかけたまま寝てしまった為、やかんが空焚きとなり寝室に設置していた住宅用火災警報器が鳴動した。隣の住民が警報音に気づき火災には至らなかった。
長屋住宅	やかんの空焚き	やかんをガスコンロの火にかけたまま寝てしまった為、やかんが空焚きとなり寝室に設置していた住宅用火災警報器が鳴動した。隣の住民が警報音に気づき火災には至らなかった。



《住宅用火災警報器に関するお問い合わせは最寄りの消防署まで》

飯塚消防署	22-7602	片島分署	23-2211
嘉麻分署	57-0399	桂川分署	65-0321